

トビイロウンカの防除について

福岡県病害虫防除所が行った7月5半旬調査の結果では、発生量は前年、平年より少ない状況で推移しています。しかし、トビイロウンカは、使用した箱施薬剤の種類や田植え時期、地域やほ場により、発生状況が大きく異なります。イネの株元を観察し、発生状況を確認するなど十分注意してください。

これからの防除適期としては、福岡県病害虫防除所が作成した下表の○で囲った時期(幼虫の時期)が考えられますので、多発圃場や収穫までの日数が長い品種は、農薬の収穫前日数に注意しながら、この時期に防除を行いましょう(下の農薬は一例です)。

収穫期の予想については、裏面を参照してください。

月	7月															8月																																											
	5					10					15					20					25					31					5					10					15					20					25					31			
5月14日 飛来	卵					第2世代幼虫					成虫					卵					第3世代幼虫					成虫					卵																												
6月8日 飛来	第1世代幼虫					成虫					卵					第2世代幼虫					成虫					卵					第3世代幼虫																												
6月23日 飛来	卵					第1世代幼虫					成虫					卵					第2世代幼虫					成虫					卵																												
7月4日 飛来	飛来成虫					卵					第1世代幼虫					成虫					卵					第2世代幼虫					成虫																												
7月9日 主飛来	飛来成虫					卵					第1世代幼虫					成虫					卵					第2世代幼虫					成虫																												

(注) (1) 発育零点12.0℃、発育上限温度28.5℃、発育停止温度33.0℃、有効積算温度(成虫期間100.0℃・卵期間109.4℃・幼虫期間189.4℃)
(2) 気温はアメダス太宰府を使用(7月27日まで実測値、以降は平年値)。

飛来に基づくトビイロウンカ発生予想パターン図 (令和3年7月28日作成)

◆防除薬剤(10a当たり) 対象病害虫:ウンカ類、カメムシ類

- ・粉剤:アルバリン粉剤DL 3kg/10a(収穫7日前まで)
- ・液剤:アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍、希釈水量150ℓ/10a(収穫7日前まで)
- ・粒剤:スタークル豆つぶ 250g(収穫日7日前まで)

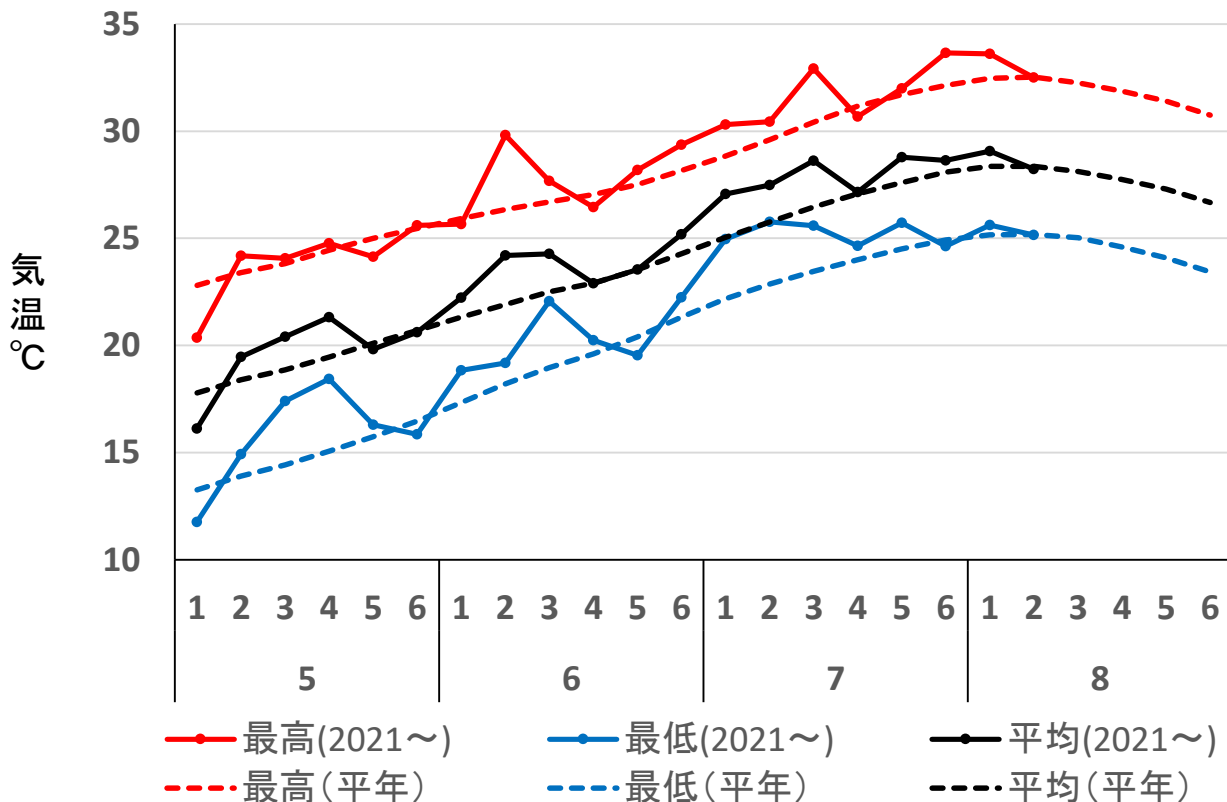
普通期水稻の収穫について

1. 生育概況

6～7月の気温が平年より高かったため、出穂が平年より早く、収穫期が早くなる見込みです。下表を参考に収穫予定を組んでください。なお、「元気つくし」の収穫適期予想は、9月上旬頃情報を出す予定です。

前ページでも記載したとおり、トビイロウンカの発生に十分注意し、収穫までの日数がある場合は、圃場を観察し、必要に応じて補正防除を実施してください。

～～～気象データ(R3.5月1半旬～8月2半旬):八幡アメダスより～～～



収穫適期予想(夢つくし)

品種	田植え日	出穂期	収穫期予想(早限～晩限) (積算気温の範囲時期)	出穂期後 積算気温
夢つくし	5月20日	7月30日	8月30日～9月6日	850～1050°C
	5月27日	8月2日	9月2日～9月9日	
	6月3日	8月5日	9月6日～9月13日	
	6月10日	8月9日	9月10日～9月17日	

※八幡アメダスデータを用いた、一般的なほ場での収穫予想です(8月10日以降は平年値を使用)。今後の天候次第では、予想が変わることもありますので、実際の判断は圃場ごとに行いましょう。